

事業評価シート

事業名	街灯維持管理整備事業		事業類型区分	4	公共施設(維持)
所管部課名	部名 都市管理部	課名 管理課	係名 整備係		

事業の位置付け

総合計画・施策分類	区分	章	節	施策	
		主	安心安全のまちづくり	犯罪のないまちをつくる	安全な都市環境づくり
	関連する位置				
法的根拠	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	「防犯灯等整備対策要綱」昭和36年3月31日閣議決定			
関連する計画等	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	第7次城陽市交通安全計画(平成13年度～平成17年度)			
市長公約等	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし				
事業期間	開始		終期設定(終了予定)		
	<input checked="" type="radio"/> 昭和	<input type="radio"/> 平成	年度	<input type="radio"/> ある	年度 <input checked="" type="radio"/> なし
事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市	<input type="radio"/> 国	<input type="radio"/> 府	<input type="radio"/> 民間	<input type="radio"/> その他 ( )

事業の概要

事業目的 (だれを、どのような状態にしたいのか、どのような効果を得ようとしているのか)	市民の夜間における交通事故防止対策及び防犯対策として街灯の整備及び管理を行う。
事業概要 (事業目的を達成するために、だれに、何を行うのか)	公衆用街(路)灯を新設等により整備するとともにその維持管理を行う。 (平成15年度から自治会管理街灯は全て市に移管) 主要道路等における既設街灯の照度アップを計画的に実施する。(蛍光灯20W ナトリウム灯40W)
平成19年度に行う 特記事項 (改革・改善内容等)	街灯設置業務委託料3,254千円の内、府道山城総合公園城陽線(1,743千円)に街灯設置を行う。
事業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ( )
これまでの事業の経緯 (改革・改善等の取組み経過等)	平成15年度:自治会管理街灯の移管を受け、従前の市管理街灯と併せた一元化管理を実施し、30業者へ街灯維持管理業務を委託した。(現在は29業者) 平成15年度:市管理街灯の全件調査を実施した。

### 事業評価シート

事業名	街灯維持管理整備事業				事業類型区分	4	公共施設(維持)
所管部課名	部名		課名		係名		
	都市管理部		管理課		整備係		
<b>事業の推移</b>							
		会計名	一般会計				
事業量(活動指標) (a)		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
新設街灯数		灯	56	64	64	64	
維持管理街灯数		灯	7,748	7,880	7,880	7,880	
コスト (b)		(単位:千円)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
事業費 (A)			34,807	36,154	36,154	36,154	
財源内訳		特定財源					
		一般財源	34,807	36,154	36,154	36,154	
正規職員数 (人日)			240	240	240	240	
正職人件費 (B)			9,751	9,903	9,903	9,903	
総事業費 (A)+(B)			44,558	46,057	46,057	46,057	

#### 評価指標

視点	指標名	算式	単位	測定年度	指標値	経年、他市等比較
効果 (事業が果たした効果を示します)	維持管理街灯数		灯	平成18年度	7,748	H18末:7,748灯 H17末:7,729灯 H16末:7,679灯 H15末:7,613灯 H14末:7,569灯 H13末:7,439灯 H12末:7,378灯 H11末:7,298灯 H10末:7,202灯
効率性 (単位当たりコストが基本となります:b/a)	管理街灯数当たりコスト	総事業費44,558千円÷管理街灯数7,748灯	円	平成18年度	5,751	

事業評価シート

事業名	街灯維持管理整備事業		事業類型区分	4	公共施設(維持)
所管部課名	部名 都市管理部	課名 管理課	係名 整備係		

評価(チェック)

項目(視点)	評価区分	評価(チェック)		評価の理由・根拠等の補足説明	判定		
		1次評価	2次評価		1次評価	2次評価	
事業実施の意義	事業は法等に位置付けられていますか(根拠性)	A:法等により実施と事業量が義務付けられている B:法等により実施が義務付けられている C:法等により支援制度等が用意されているが実施自体は自治体の選択 D:特になし					
	行政が担わなければならない事業ですか(公民の役割分担)“アウトソーシングは対象としない”	A:市の責任で実施しなければならない事業である B:民間の責任で実施できるが採算性がない、又は民間等のサービスが不十分 C:民間の責任で実施できる、又は実際に民間等がサービスを行っている	A	A	街灯は公共財産であり、これを維持管理する責務は市にある	● 高い	● 高い
	市民等との協働の可能性はありますか(協働可能性)	A:市民・NPO等との協働が可能、している B:市にしかできない	A	A	住民等による維持管理は可能であるが、街灯の管理は自治会から平成15年4月に維持管理を一括受けている。しかし、不具合等の通報は住民等に頼らざるを得ない。	○ 普通	○ 普通
	事業の実施は総合計画や各種計画、市長公約等に貢献しますか(上位計画等への貢献度)	A:大いに貢献している B:貢献している C:あまり貢献していない					
	事業内容は事業の目的と結びついていますか(目的適合性)	A:事業目的に合致している B:事業目的に一部分合致している C:事業目的に合致していない					
	事業を取り巻く社会背景に適応していますか(情勢との適応)	A:社会背景に大いに適応している、役割は高まっている B:社会背景に適応している C:社会背景にあまり適応していない、当初の役割が薄れている					
市民にとっての意義	市民が求めているサービスですか(市民ニーズ)	A:市民ニーズは高い B:市民ニーズは普通、明確に把握していない C:市民ニーズは低い					
	どのくらいの市民を対象としていますか(対象市民)	A:すべての市民を対象としている B:多数の特定市民を対象としている C:少数の特定市民を対象としている					
	今、行うべき緊急性がありますか(緊急性)	A:時間とともに問題や被害が大きくなる B:この時期を逃すと実施できる環境が壊れる C:緊急性は特になし、乏しい					
	事業を休廃止した場合の影響度合いはどの程度ですか(事業中止の影響)	A:休廃止した場合、市民への影響は非常に大きい、深刻 B:休廃止した場合、市民への影響は大きい C:休廃止した場合、市民への影響は小さい					

事業評価シート

事業名		街灯維持管理整備事業			事業類型区分	4	公共施設(維持)	
所管部課名		部名	課名		係名			
		都市管理部	管理課		整備係			
事業が果たした効果	事業の効果はみられますか (効果)	A:事業効果は高い B:事業効果はある C:事業効果は低い、あまり見られない	A	A	市民の安全安心な生活を確保するため事業効果は高い			
	本来の事業目的の他に発生する効果はありますか (波及効果)	A:本来の事業目的の他に効果が広がる B:本来の事業目的の他に効果の広がりはない				<input checked="" type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 高い	
	事業は市の魅力アップに貢献しますか (市の魅力性)	A:事業内容は他の自治体に比べ特徴的で、市の魅力アップに貢献している B:事業は市の魅力アップに貢献している C:事業内容は直接、市の魅力とつながらない				<input type="radio"/> 普通	<input type="radio"/> 普通	
	類似の目的をもつ他の事業はありませんか、代替できませんか (代替性)	A:他の事業での代替はできない B:一部、他の事業で代替できる C:代替は可能である				<input type="radio"/> 低い	<input type="radio"/> 低い	
事業の経営効率性	人件費の縮減と事業工程の改善はできませんか (アウトソーシングなどの非正職化)	A:事務の効率化及びアウトソーシング等を実施する余地はない B:事務の効率化及びアウトソーシング等を実施する余地がある	B	B	パソコン等の導入により街灯維持管理委託等事務処理の効率化が可能である	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 高い	
	物件費等は縮減できませんか (創意工夫による事業費の圧縮)	A:事業費を縮減する余地はない B:事業費を縮減する余地がある	A	A	街灯新設の市民要望は高くこれ以上経費は削減できない	<input type="radio"/> 普通	<input type="radio"/> 普通	
	受益者負担は適正ですか (受益者負担)	A:負担割合は適正である B:負担割合を見直す余地がある	A	A	受益者に該当する事業ではない	<input type="radio"/> 低い	<input type="radio"/> 低い	
補足説明								

## 事業評価シート

事業名	街灯維持管理整備事業	事業類型区分	4	公共施設(維持)		
所管部課名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">部名 都市管理部</td> <td style="width: 50%;">課名 管理課</td> </tr> </table>	部名 都市管理部	課名 管理課	係名 整備係		
部名 都市管理部	課名 管理課					

### 今後の方向性(改革・改善方向)

事業目的を達成する上で課題	<p>市民、自治会との協働管理体制の強化。 街灯の維持管理事業は街灯設置数が約8,000灯に及ぶ状況から、街灯の修繕等の業務を円滑に実施するには、故障街灯の発見連絡等について市民、自治会の協力は必要不可欠である。 土、日曜日並びに連休や盆、年末年始などに修繕依頼があった場合の修理対応について自治会に周知徹底を図る。</p>
今後の改革改善案	<p>街灯管理体制の改革 街灯(防犯灯)管理に対する市民の自治意識が低下しつつあり、球切れ状態が目立ってきたことから、改めて各自治会に対して周知の連絡依頼を行い、今後は体制の充実を図るため、自治会・市民団体との協働管理体制を目指した取組みを検討する。 街灯管理体制の改善 街灯の維持管理コストの軽減を図るため、球交換等の街灯維持管理業務を業者(29業者)と単価契約している。(継続) 管理手法を民に委ねる方式を確立して継続する。(改善)</p>

### 今後の方向性(総合評価)

1次評価 (各部評価)	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事務見直し	理由
		市民の安全安心な生活を確保するため、本業務は必要不可欠である。
2次評価 (評価委員会)	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事務見直し	コメント
		課題整理を前提に事業を継続する。 管理手法を民に委ねる方式を確立して継続する。
次期評価時期		平成 20 年度

### (事業効率性の位置)

事業が果たした効果			
	低い	普通	高い
事業の経営効率性			

別途添付資料 (評価の内容を具体的に示す資料等を添付する)